

20.1.31

佐倉市

# 教育センターだより

Vol.14

平成20年1月31日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043 (486) 2400 <http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm>

## 教育の動向を見据えて成すべきこと（一年間を振り返って）

所長 杉本 勉

全国学力・学習状況調査の結果分析の中で、基礎的・基本的な知識・技能については概ね身に付いていますが、提示された問題から必要な情報を取り出して説明する能力などに課題があることがわかりました。先に行われたOECDによるPISA調査の結果でも、読解力に関わる思考力・判断力・表現力や記述式問題を解くために必要な能力や態度に課題があると指摘されました。

新学習指導要領への改定の動向を見ても、「基礎的・基本的な知識・技能の習得とあわせて知識や技能を活用する活動を充実し、さらに、それらの基礎となる言語に関する力を育てていく」ことを重視し、そのために必要な授業時数の増加が示されました。

今、大きな教育改革のうねりの中でこれらの結果を真摯に受け止めたとき、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上を図るために、自校の「学力向上アクションプラン」などを策定する中で、積極的に授業改善や指導方策の転換をしていく必要があります。わかる授業・楽しい授業に加えて、何よりも考えることが楽しい授業（探求型の授業）、そして観察や実験、見学などを通して学んだことやわかったことをまとめたり、他に発信したりするための活動を充実させていくことが望まれています。

佐倉市教育センターでは、11月末に学力調査の分析や改善・充実のための手だてを示しました。また、教育センターでこれまでに実施・公表してきた調査結果や以下に示すような本年度事業の中で得られた調査結果（今後随時公表予定）も各学校の学力向上のためのプランづくりの参考にしていただければ幸いです。

### 《平成19年度の主な事業》

#### 学習意欲に関する調査

対象：小、中学生（抽出）と教職員  
内容：学習意欲に関する意識調査  
学習意欲向上を図るための意識調査

#### 夏休みの過ごし方に関する調査

対象：小学生（抽出）とその保護者及び教職員  
内容：夏休みの過ごし方についての意識調査及び実態の把握

#### 家庭教育に関する調査

対象：小学校1年生の保護者（抽出）  
内容：家庭教育に関する保護者の意識調査

#### 佐倉学道徳副読本の作成【1年次】

内容：郷土佐倉への愛着を育み、社会に貢献できる人材を育てるため、佐倉の先覚者の生き方や偉業を通して、学ぶことの大切さと新しいものに積極的に挑戦しようとする「好學進取」の気風を育てるための道徳の副読本を作成する。

#### 佐倉市学習状況調査

対象：小、中学生  
内容：小、中学生の学習意欲及び学習、生活習慣に関すること、並びに国語、算数・数学、英語の基礎学力の状況

#### 全国学力・学習状況調査の結果分析

全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上を図るための基礎となる分析を行う。

#### 教育相談基礎講座の実施

対象：教職員  
目的：教育相談の理論と技法を実践的に学ぶことを通して、児童生徒の持つさまざまな問題解決に向けての指導力の向上を図るためのカウンセリングの基礎を学ぶ。

最後になりましたが、この一年間教育センター事業にご理解とご協力をいただきました多くの方々に感謝申し上げますとともに、今後も佐倉市教育の向上・発展のために教育センターとして成すべきことを見据えて、努力していく所存です。

# これからの授業のあり方について

「平成19年度 全国学力・学習状況調査」より

## 1 全国学力・学習状況調査について

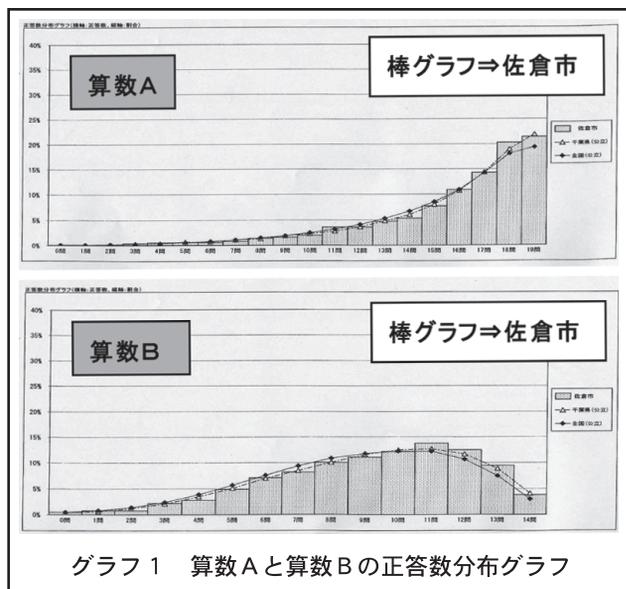
この調査は、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的として、平成19年4月24日に全国の全児童生徒（小6と中3）を対象に実施されました。今回は特徴が見られるデータの一部を紹介するとともに、これからの授業のあり方について述べたいと思います。

## 2 教科に関する調査結果の概要について

教科に関する調査は、「国語A」「国語B」「算数・数学A」「算数・数学B」が実施されました。「A」は知識や技能などを中心とする出題で、「B」は知識や技能の活用などを中心とする出題です。基本的な知識や技能は身につけている児童生徒が多いですが、知識や技能の活用については平均正答率も低く、分布にもばらつきが見られ、課題があるといえます。【表1とグラフ1】

小 6	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
佐倉市	83.9	67.0	83.7	65.7
全 国	81.7	62.0	82.1	63.6
中 3	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
佐倉市	82.4	75.0	73.9	64.1
全 国	81.6	72.0	71.9	60.6

表1 各教科の平均正答率



## 3 国語の調査結果について

体験等に基づいて自分の考えを書いたり、文学作品の内容について自分の考えを書いたりすることについては、相当数の児童生徒ができています。ごみを減らすための自分の考えを決められた字数で書く問題は、正答率が76.1%であり、比較的よくできています。しかし、同じ書く問題であっても、文章を読んでその資料の中から与えられた表現形式で書き換える問題については、正答率が低い傾向が見られます。古紙を回収に出すときに守ることについて、「～こと」と書き換える問題は正答率が53.7%でした。【問題1】

店長さんが紹介してくれた広告カードと中学生が作った広告カードを比較する問題は、「共通して書かれている情報を2つ書く」（正答率57.7%）、「違いを説明する」（正答率46.6%）ともに正答率が低いです。【問題2】

地球 わくわく新聞 第二号

★今回の特集★ わたしたちのくらしごみ

★古紙を回収に出すときに守ること★

みんなで気をつけよう！

○同じ種類の古紙はひもでくくり、まとめて出すこと。

資料から与えられた表現形式で書き換える（～こと。）

佐倉市正答率⇒53.7%

体験に基づき、制限された字数で自分の考えを書く

佐倉市正答率 ⇒76.1%

問題1 小学校国語Bの問題より

〈店長さんが紹介してくれた広告カード〉

**大人だって子どもだってこの本読めばトムソーヤ。**

判也と内人が繰り広げる冒険はとてつもない。今度は誘拐事件に巻き込まれる!? 読めば、子どもは冒険気分、大人は子どものころのワクワクした気持ちよみがえるはず。必ずすべての人に薦め、希望を与えてくれる一冊。

**都会のトムソーヤ** ③ はやみねがかる

○店員さんが同じシリーズの本について作った広告カード

〈小林さんの広告カード〉

**はやみねがかるの人気のシリーズ 都会のトムソーヤ**

お友達にはまだ読んでいないから読んでほしい。みんなが知っているトムソーヤの冒険は、今更にはやみねがかるのシリーズが人気です。みんなが知っているトムソーヤの冒険は、今更にはやみねがかるのシリーズが人気です。

〈中川さんの広告カード〉

**ぼくらはいつも迷コンピ**

個性派の創世といわれるふたりの中学生内人。二人の冒険はもう止まらない。今更にはやみねがかるのシリーズが人気です。

同世代として共感すること間違いなし!

**都会のトムソーヤ** ④ はやみねがかる

**広告カードの比較**

同じ情報を書く ⇒57.7%

違いを説明する ⇒46.6%

問題2 中学校国語Bの問題より

#### 4 算数・数学の調査結果について

計算問題については、正答率が80%を超えており、相当数の児童生徒ができています。しかし、計算の意味を理解していないで、計算方法だけを覚えて、形式的に解いている傾向が見られます。「次の計算式で求められる問題はどれですか?」「方程式の移項の意味は?」という問題だと正答率が低くなります。【問題3】

次の計算をしましょう。

(1)  $28 + 72$

(2)  $27 \times 3.4$

(3)  $9.3 \times 0.8$

**計算をする**

**佐倉市正答率**

(1)97.9% (2)85.1%

(3)85.0%

答えが  $210 \times 0.6$  の式で求められる問題から1つ選んで、その番号を書きましょう。

**小数の乗法の意味**

**佐倉市正答率**

⇒54.3%

1 砂糖を0.6 kg 買って、210円はらいました。この砂糖1 kgのねだんはいくらでしょう。

2 210 kgの大豆を0.6 kg ずつふくろにつめます。大豆を全部つめるには、ふくろはいくついるでしょう。

3 1 mのねだんが210円のリボンを0.6 m 買いました。リボンの代金はいくらでしょう。

4 赤いテープの長さは210 cmです。赤いテープの長さは白いテープの長さの0.6倍です。白いテープの長さは何 cm でしょう。

「4」解答 32.4%

問題3 小学校算数Aの問題【小数の計算と意味】

(1) 平行四辺形

平行四辺形の面積

**佐倉市正答率**

⇒95.3%

公園の面積を比較する

**佐倉市正答率**

⇒17.9%

東公園

中央公園

お店

○ 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路ケに垂直です。

○ 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路コに垂直です。

問題4 小学校算数Aと算数Bの問題【平行四辺形】

平行四辺形の面積を求める問題は、底辺と高さのみが与えられているときは、正答率が95.3%であり、ほとんどの児童ができています。しかし、図が複雑になると、与えられている数字が多くなると、正答率が17.9%と極端に低くなります。【問題4】

x	...	-2	-1	0	1	2	3	...
y	...	-6	-12		12	6		

**佐倉市正答率**

⇒46.2%

問題5 中学校数学Aの問題【反比例の対応表】

円柱 → 円錐

**佐倉市正答率**

⇒40.0%

問題6 中学校数学Aの問題【円柱と円錐の体積比】

中学校数学Aの問題で、反比例の対応表を完成させる問題と円柱、円錐の体積比に関する問題の正答率が40%台であり、他の問題に比べて低いです。反比例の性質を理解していないために、半分ずつ減るので「3」、6ずつ減るので「0」という誤答が多いです。また、体積比の問題では、円柱は円錐の2つ分という誤答が多く見られます。【問題5と6】

お得なセットメニュー！  
A, B, Cからそれぞれ1品選んで、  
A, B, C好きなものを  
ずつ選んでね！

**A**  
アスパラサラダ ・150kcal・塩分2.8g  
クラムチャウダースープ ・200kcal・塩分2.1g

**B**  
具だくさんミックスピザ ・500kcal・塩分3.3g  
イカとタラコスパゲッティ ・400kcal・塩分3.5g  
やわらかオムライス ・600kcal・塩分4.1g

**C**  
レインボーアイスクリーム ・200kcal・塩分0.2g  
カボチャのプリン ・100kcal・塩分0.5g  
マンゴーサンデー ・250kcal・塩分0.3g

ドリンクサービス  
○プラス150円コース  
・オレンジジュース  
・ウーロン茶  
○プラス200円コース  
・コーヒー  
・紅茶  
(値段は全て消費税別)

**カロリー750kcal 以下で塩分が一番少ない組み合わせ**  
**佐倉市正答率 ⇒49.4%**

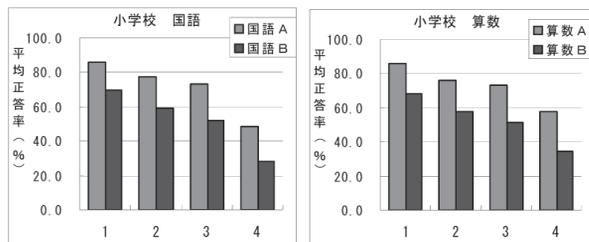
**5人で金額が5,750円のととき、ドリンクサービス200円コースの人はいるか**  
**佐倉市正答率 ⇒58.3%**

問題7 中学校数学Bの問題より

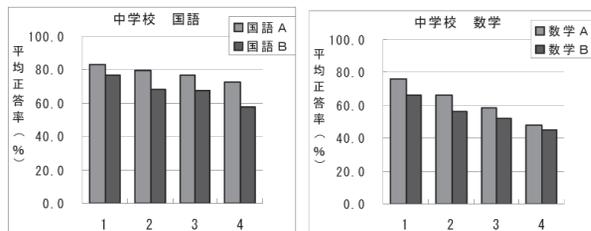
問題7はメニューの選び方が全部で18通りあります。情報が多いためか、その中からカロリーと塩分の両方が低いメニューの組み合わせを見つけ出すことは、正答率から見て難しいようです。また、食事代を除いたドリンクだけの金額からドリンクサービスを推測することも、正答率が58.3%と低いです。【問題7】

### 5 意識調査と学習成績の関係について

学習成績と生活習慣、意識は大きな関係があります。中でも、家庭学習や朝食の習慣は、学習成績と大に関係があるといえます。「あてはまる」と回答したグループ



グラフ2 家で宿題をやるかどうかと学習成績の関係



グラフ3 朝食食べているかどうかと学習成績の関係

1⇒あてはまる 2⇒ややあてはまる  
3⇒ややあてはまらない 4⇒あてはまらない

と「あてはまらない」と回答したグループでは、30点前後の差が見られます。その他の項目でも、「家の人と学校でのできごとについて話をする」「同じくらいの時刻に寝起きしている」「学校に行く前に持ち物を確認する」「新聞やテレビのニュースに関心がある」「自分にはよいところがある」「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「人の気持ちのわかる人間になりたい」「学校のきまり、規則を守っている」などについても同様の傾向が見られます。【グラフ3】

### 6 指導改善のポイントについて

近年、基礎的・基本的な知識の習得だけでなく、思考力・判断力・表現力等を育成する必要があるといわれています。これらの能力の基盤は言語の能力であり、その育成のためには、国語だけでなく各教科等において取り組んでいかなければなりません。そこで、指導改善のポイントをいくつか述べたいと思います。

#### (1) 条件をつけて書く練習をする

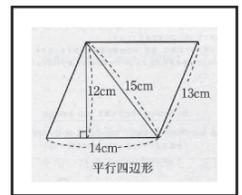
自由に書く活動だけでなく、表現の仕方や書き方を決めて書くことも必要です。また、それを発表することによって、論理的な考え方が身についてきます。

#### (2) 文や資料等を比較、訂正する活動を行う

文や資料を見るとき、ポイントを絞って読み取らせることが大切です。また、他の人の文やレポートからよさを見つける活動を取り入れることが大切です。

#### (3) 多くの情報を整理する活動を取り入れる

正しい情報だけでなく、いくつかの情報から取捨選択する活動を取り入れることが必要です。



算数の問題で、右図のように

いろいろな情報を入れることも工夫の一つです。

#### (4) 実験や観察などの体験活動を積極的に取り入れる

公式を暗記したり、形式的に解いたりするのではなく、できるだけ具体的な事象と結びつけながら学習できるようにすることが大切です。

#### (5) 基本的な生活習慣や学習習慣を確立させる

授業だけを改善しても限界があります。家庭と連携を図りながら、規則正しいきちんとした生活を送ることが大切です。

(沖永 寛)

# 家族とのコミュニケーションと学習意欲

～「平成19年度 学習意欲に関する意識調査」より Part2～

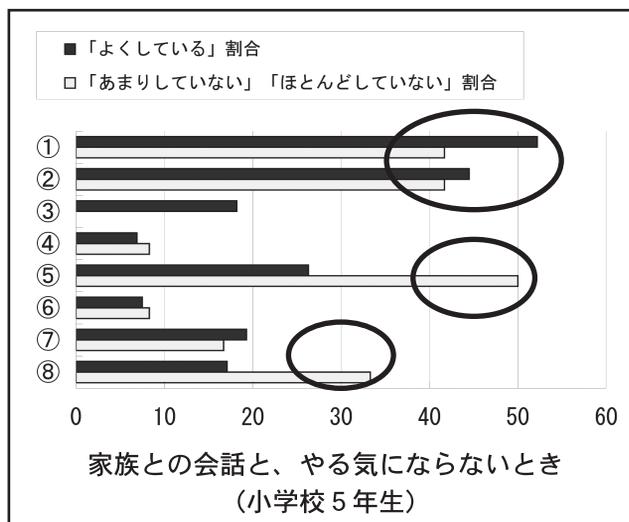
前号にひきつづき、市内の小学校5年生、中学校2年生及び教師を対象とした「学習意欲に関する意識調査」の結果から、今回は、子どもたちの学習意欲と家族とのコミュニケーションの関連性について紹介します。

## ■ 子どもたちのやる気を支えるもの

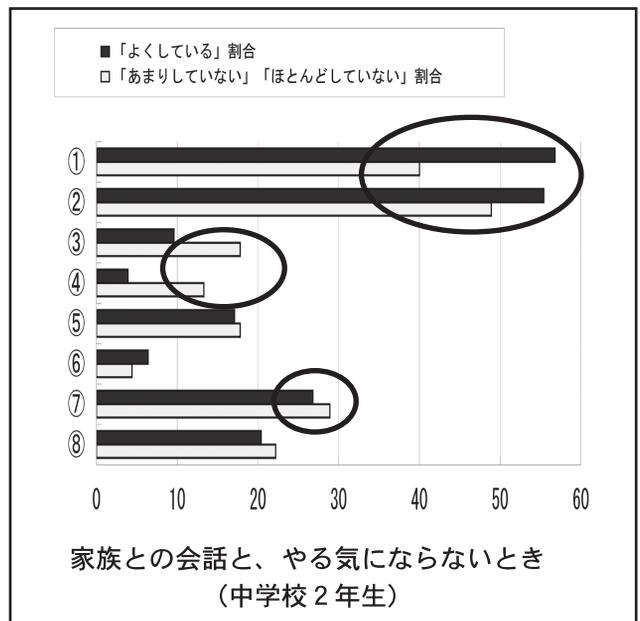
子どもたちはどのようなときに「勉強をやる気なくなるか」を、家族との会話の頻度の関連性から調べた結果です。小学校5年生、中学校2年生ともに、「授業がわからない」「授業がつまらない」ことは、家の人との会話の量に関係なく、学習意欲が高まらない原因であることがわかりました。

### 選択肢：勉強がやる気にならないとき(複数回答可)

- ① 授業がわからないとき
- ② 授業がつまらないとき
- ③ 先生におこられたとき
- ④ 家の人におこられたとき
- ⑤ テストの点数や、成績が下がったとき
- ⑥ むずかしい問題や技に挑戦するとき
- ⑦ 家の人に「勉強をしなさい」と言われるとき
- ⑧ 友だちや、兄弟姉妹と成績を比べられるとき



小学校5年生においては、家の人と会話が少ない子どもたちは、「テストの点数や、成績が下がったとき」「友だちや、兄弟姉妹と成績を比べられるとき」にやる気なくなる傾向が高いことがわかります。小学生においては、点数や成績といった学習の結果がやる気に影響しており、特に会話が少ない子どもたちはその傾向が強いことがうかがえます。



中学校2年生においては、家の人と会話が少ない子どもたちは、「先生におこられたとき」「家の人におこられたとき」にやる気なくなる傾向が高いことがわかります。中学生においては、おこられたり、勉強をするようにいわれたりすることに抵抗を感じている子どもが多く、特に会話の少ない子どもたちはその傾向が強いことがうかがえます。

## ■ 学校と家庭の双方で支える「やる気」

意識調査の中の別の質問では、「(勉強を)やる気になるとき」について、授業がよくわかるときやおもしろいときを選んだ子どもが半数みられました。子どもたちの学習意欲を高めるためには、学校や教師が「わかりやすい授業」「楽しい授業」を作り上げることが肝要であることがわかります。

また、子どもたちが安心して学習に取り組むことができる心の学習環境づくりは、やる気を高めたり、維持したりするための大切な要素です。子どもの成長にしがたって、家族との会話の量は変化しますが、あくまでも不安定になりがちな子どもを支えるための一つ的手段です。会話をすればやる気も心も安定する、ということではありません。学校や教師はわかりやすく、楽しい授業づくりに努め、家庭は子どもや家庭の実態にあわせた方法で子どもとコミュニケーションをとるなどし、双方で子どもたちの学習意欲を高め、支えていくことが望まれます。(前林 典子)

# 相談員として学んだこと

相談室は、いつも四季折々の花で飾られています。仕事前の一時、相談室の掃除をしたり、花瓶の水を取り換えたりすることが、私にとって程よいウォーミングアップになっているようです。

今年度から教育相談の仕事に就き、相談業務を始めてみると、今まで身に付けた知識や技能だけでは不十分であると感じ、これまで十数回の研修会に参加してきました。経験豊かな講師の方々からたくさんのことを学びましたが、最も印象に残った言葉があります。それは、「相談者の最善の利益を考えて相談活動を行うこと」です。

相談者の方が電話をかけるまでに、迷いやためらいが少なからずあると思われまます。勇気を出してかけてきた電話ですから、「相談者の最善の利益を考えること」は、至極当たり前と言えます。しかし、実際に行うのは難しいものです。話の内容をよく聴き取ることや、気持ちをよく理解することなどはもちろん、話の進め方を工夫する必要もあります。

印象に残った研修会がもう一つあります。「不登校についての相談があったら、どのように対応したらいいだろう」と、マニュアルを探していたときでした。そこでは、不登校を体験した青年たちの話を聞く機会がありました。現在はそれぞれの進路に向かって青年たちが、不登校をしていた当時の心境を思い出し、語ってくれたのですが三者三様でした。「学校に行かなくて楽な気持ちだった。」「学校の方が楽しかった。友だちと遊びたかった。」「将来のこ

とが不安だった。」などです。

学校現場でも、一人ひとりを理解することの大切さが常に言われますが、相談室でも同じです。一人ひとりの状況を理解し、気持ちに寄り添うことが必要だと考えます。そして、固定したマニュアルがないからこそ、様々な相談に応じられるたくさんの引き出しをもたなければと思っています。

最近、学校生活に関わる相談を数件受けました。話の流れの中で、学校の先生に相談することを提案したところ、「そうしてみます。何かあったらどうぞ、と先生も言ってくれていますので。」と明るい声と共に終わることができました。そのとき、家庭と学校をつなぐ役割も担っていることを実感しました。

「相談者の最善の利益」を考えたとき、相談室だけで解決することが難しいケースがあります。そのようなときは、相談内容に応じた専門の関係機関と連携を図り、解決のために努力しています。

(ヤングプラザ学校教育相談員 田中 弘枝)



相談室内の様子

## 編集後記

昨年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表され、佐倉市教育委員会では佐倉市の小・中学生の学力の実態について、分析を行いました。今回の調査で得られた貴重なデータは、より質の高い教育の実現のため、十分に活用していきます。2月19日(火)に実施する「佐倉市教育センター等報告会」については、今年も教職員の方だけでなく、市民の方にも聴講していただけるよう準備を進めています。佐倉市教育センターでは、「学習意欲に関する調査」等これまでに実施した調査の詳しい分析結果について、随時ホームページで公表しております。これからも有用な情報を教職員や市民のみなさんに積極的に発信して行く所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。〔<http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm>] (西村 隆徳)